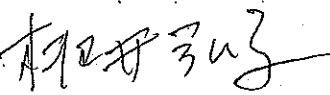
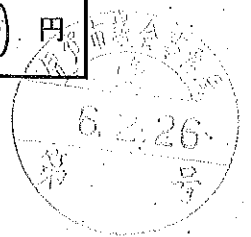


伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様		報告者	議員名 
研修会名	防災について 講師：一般社団法人日本防災共育協会 三重支部長 鈴木啓介		
日 時	1 月 19 日 15 時 30 分～		
場 所	街づくり研究会 会派室		
【研修の成果】			
1. 自助・共助・公助の認識について			
・自助・近所・共助・公助がある。近所とは共助より近いコミュニティの事をいう。			
・命を守る事を日頃より考えておく事が必要。			
・備蓄品に関しては、家のみでなく、車・納屋等、数か所に分散する。			
・パンダグラブジャッキやウマは生き埋めになった際使用出来る。			
・耐震診断は個人の責任。			
1. 避難所の現状について			
・ハザードマップを個々で確認しておく。			
・備蓄品や食料品は市民全員の分は用意されていない。			
・孤立集落になる可能性のある地区は地区で避難場所を決めておく。			
費 用	旅費：	円	研修参加費：15,000 円 合計：15,000 円



伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名

相井 弘子

研修会名 防災について 講師：一般社団法人日本防災共育協会 三重支部長 鈴木啓介

日 時 1 月 19 日 15 時 30 分～

場 所 街づくり研究会 会派室

【研修結果】

1. 自助・共助・公助の認識について

- ・最も重要なのは自助。命がなければ何も出来ない。
- ・命があれば、近所→共助→公助が可能。
- ・現在の教育は共助のみを習っている為、改善が必要。
- ・備蓄品、連絡手段等、日頃より個々の責任で考えておく。
- ・パンダグラフジャッキやウマは使用方法を防災訓練時、指導するべき。
- ・耐震診断に関して、周知徹底が必要。

1. 避難所の現状について

- ・ハザードマップを確認し、避難所の確認をしておく。
- ・備蓄品や食料品は基本的に各自用意し避難所へ向かう。
- ・避難所使用方法(食料品等)を市民に周知する必要有り
- ・様々なルールを各自が学ぶ必要有り。

費 用 旅費： 円 研修参加費：15,000 円 合計： 円

領収書等添付用紙

議員名

桃井弘子

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさに貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

領 収 証

桃井弘子様

No.

金額

¥15000-

但

消費材料謝金として(誠意料10%含む)

2024年 7 月 19 日 上記正に領収いたしました

〒510-0846 三重県四日市市大井の川町3丁目41

内 記

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

株式会社 friends-a

代表取締役 鈴木 恵介

TEL:090-7678-2799

登録番号



GR096923